

2020年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2019年11月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

証券コード:7164

目次

- I . 決算の概要 P 3
- II . 今後の展開 P 11

2020年3月期 第2四半期決算サマリー

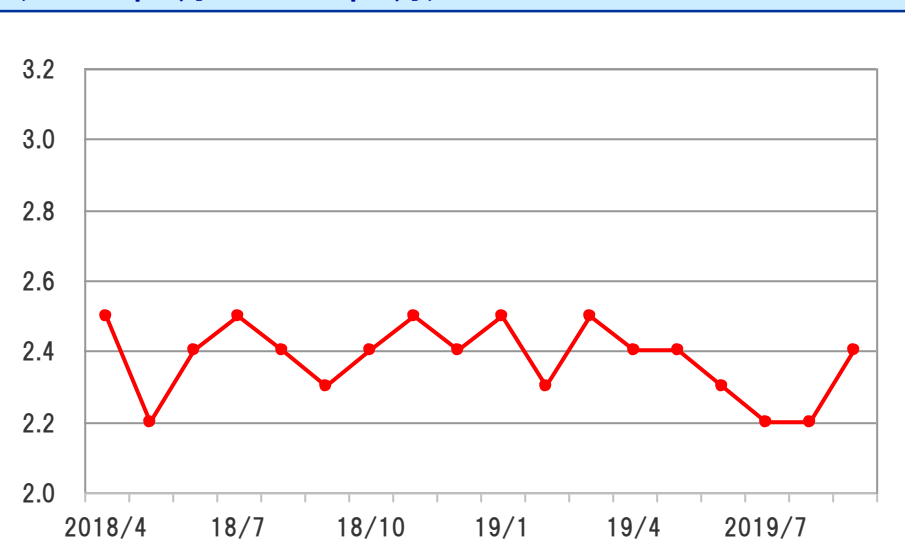
- 政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が続き、新設住宅着工戸数のうち持家・分譲住宅の合計は前年同期を上回る水準で推移
- 新規提携については、第2四半期累計期間において信用組合1組合、JA2組合、JF(漁業協同組合)1組合と契約締結
- 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益、利益は順調に推移
- 営業費用(与信関連費用)は、おおよそ計画通りで推移

I . 決算の概要

経済環境

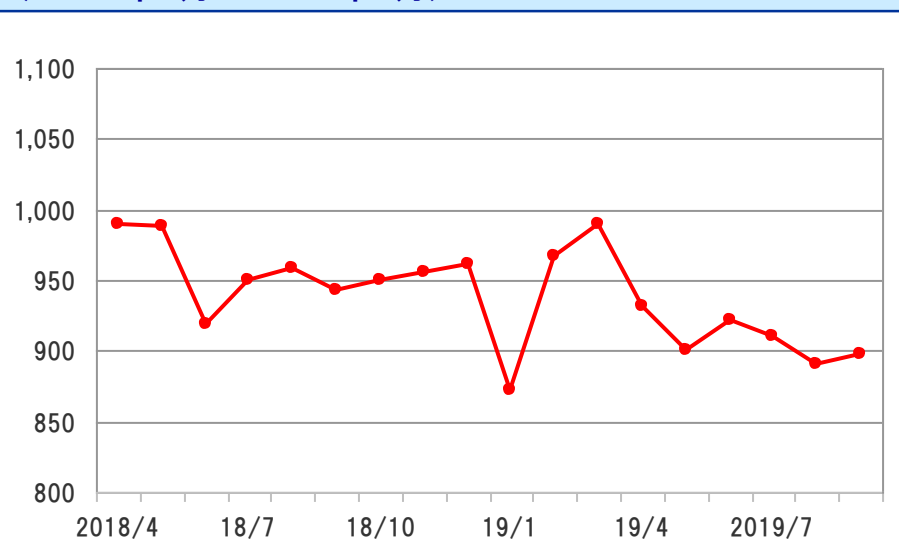
- 依然として通商問題などによる海外経済の不透明な状況が継続するなか、企業収益は底堅く推移し、雇用と所得環境の改善や個人消費の持ち直しが続くなど、景気は緩やかな回復基調が継続
- 住宅市場については、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境の継続により、新設住宅着工戸数のうち持家・分譲住宅は前年同期を上回る水準で推移
- 住宅ローン市場については、新築・中古案件を獲得するため金融機関の金利競争が継続

失業率(季節調整値)
(2018年4月~2019年9月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数) (単位:千戸)
(2018年4月~2019年9月)

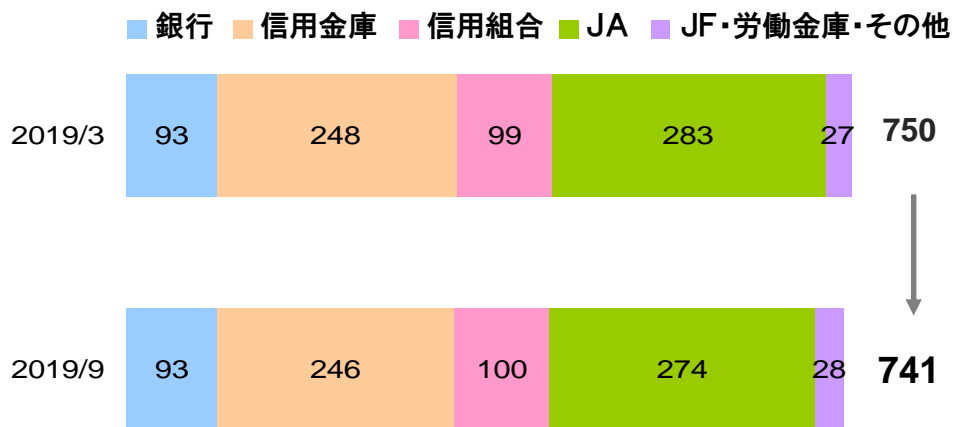


出所:国土交通省 住宅着工統計

金融機関との提携状況

業態別の提携金融機関数

(単位:機関)

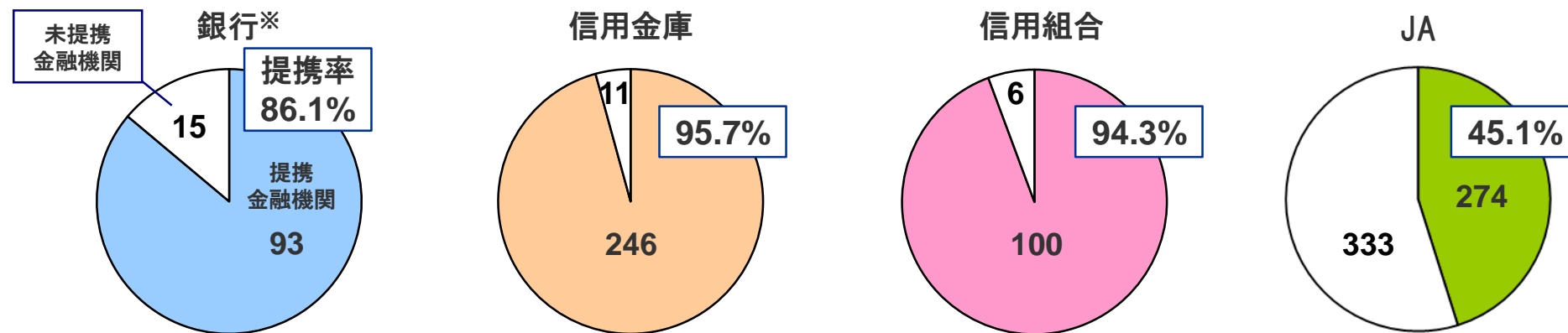


- 2020年3月期第2四半期累計期間において、信用組合1組合、JA2組合、JF1組合の合計4機関と契約締結
一方、金融機関同士の合併により13機関が減少
結果、提携金融機関数は741機関(前期末比▲9機関)

新規提携	合併による減少	差引
4機関	13機関	▲9機関

業態別の提携シェア

(単位:機関)



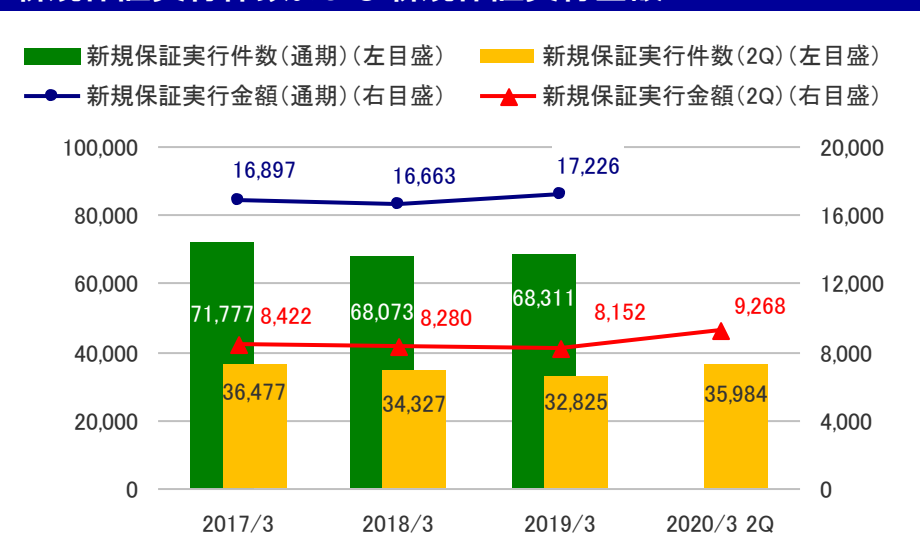
*銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行の合計

新規保証実行および保証債務残高の状況

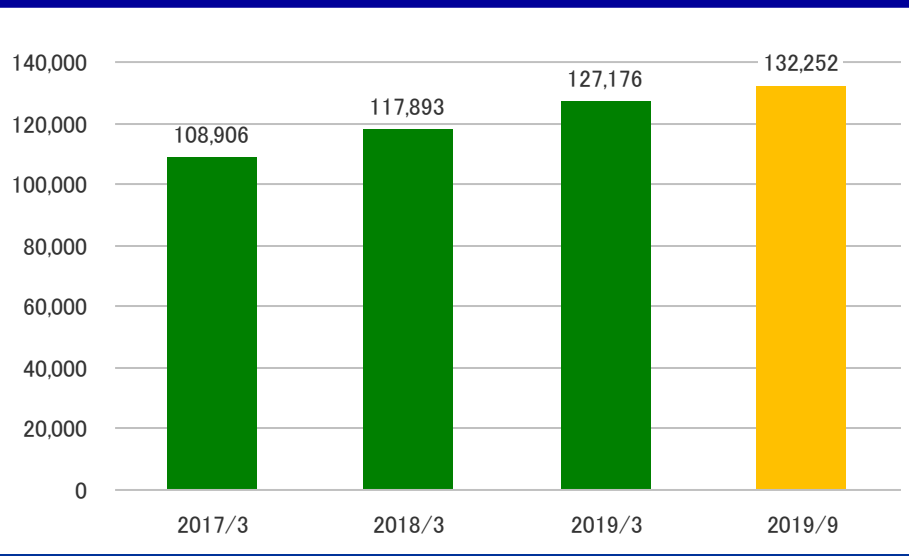
2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

- 新規保証実行件数および新規保証実行金額
 新規保証実行件数は35,984件(前年同期比9.6%増)、
 新規保証実行金額は9,268億円となった(前年同期比13.7%増)
 民間金融機関住宅ローン新規貸出金額に対する当社保証の利用割合
 は初めて10%を上回った(2020年3月期第1四半期実績)
- 保証債務残高
 13兆円を突破、新規保証実行が順調であったため計画通り進捗

新規保証実行件数および新規保証実行金額 (単位:件、億円)



保証債務残高 (単位:億円)

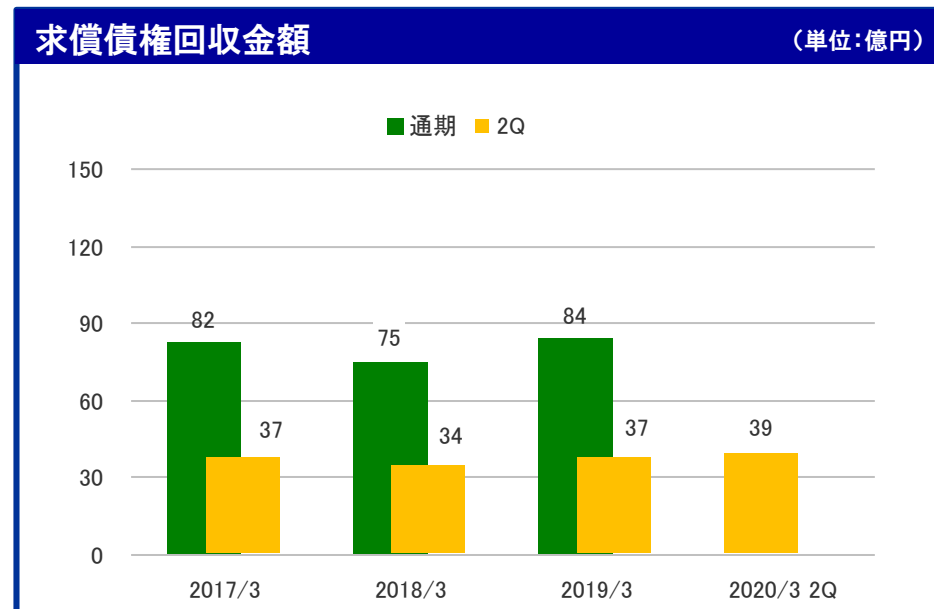
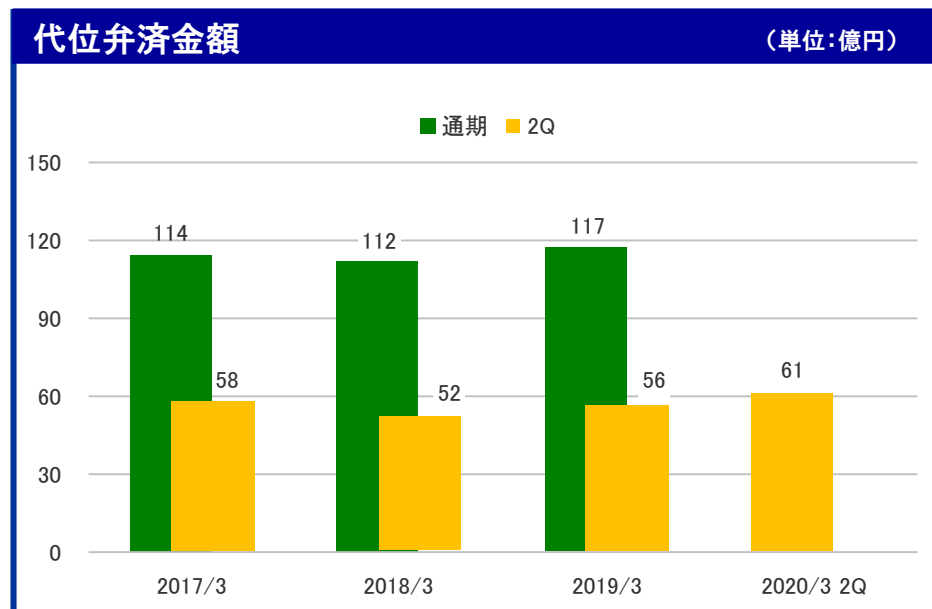


※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

代位弁済金額および求償債権回収の状況

2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

- 代位弁済金額
代位弁済金額は計画通り進捗
保証債務残高に占める割合は引き続き低位で推移
- 求償債権回収金額
求償債権の回収は計画通り進捗
2019年9月より当社求償債権の管理回収業務の一部を
当社子会社である、あけぼの債権回収㈱に委託開始



2020年3月期 第2四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	19/3期 第2四半期	20/3期 第2四半期	前年 同期比	第2四半期 計画
営業収益	16,246	17,623	8.5%	17,300
営業費用	4,257	4,818	13.2%	4,850
うち与信関連費用	1,204	1,443	19.8%	1,410
債務保証損失引当金繰入額	1,458	1,408	▲3.4%	1,660
貸倒引当金繰入額	▲253	34	—	▲250
うちその他	3,053	3,374	10.5%	3,440
営業利益	11,988	12,805	6.8%	12,450
経常利益	12,437	13,394	7.7%	12,900
特別損益	▲30	▲93	208.1%	—
四半期純利益	8,662	9,241	6.7%	8,900

ポイント

- **営業収益**
保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は176億23百万円を計上。
- **営業費用**
営業費用については計画通り進捗し48億18百万円を計上。
- **特別損益**
減損処理による投資有価証券評価損などにより、特別損失93百万円を計上。
- **四半期純利益**
上記の状況により、四半期純利益は92億41百万円を計上。

2020年3月期 第2四半期決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期 第2四半期末	増減比
流動資産	188,741	167,012	▲11.5%
現金及び預金	175,742	154,747	▲11.9%
求償債権	12,266	13,422	9.4%
有価証券	6,334	5,127	▲19.1%
貸倒引当金	▲6,302	▲6,935	10.0%
固定資産	132,490	158,095	19.3%
投資その他の資産	131,671	157,207	19.4%
投資有価証券	107,649	134,650	25.1%
長期預金	19,000	17,000	▲10.5%
資産合計	321,232	325,108	1.2%

	負債の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期 第2四半期末	増減比
流動負債	30,406	28,322	▲6.9%
前受収益	16,264	16,548	1.7%
債務保証損失引当金	6,453	6,240	▲3.3%
固定負債	163,826	166,588	1.7%
長期前受収益	163,767	166,514	1.7%
負債合計	194,233	194,911	0.3%
純資産の部			
株主資本	126,492	129,748	2.6%
評価・換算差額等	388	299	▲22.9%
純資産合計	126,998	130,196	2.5%
負債・純資産合計	321,232	325,108	1.2%

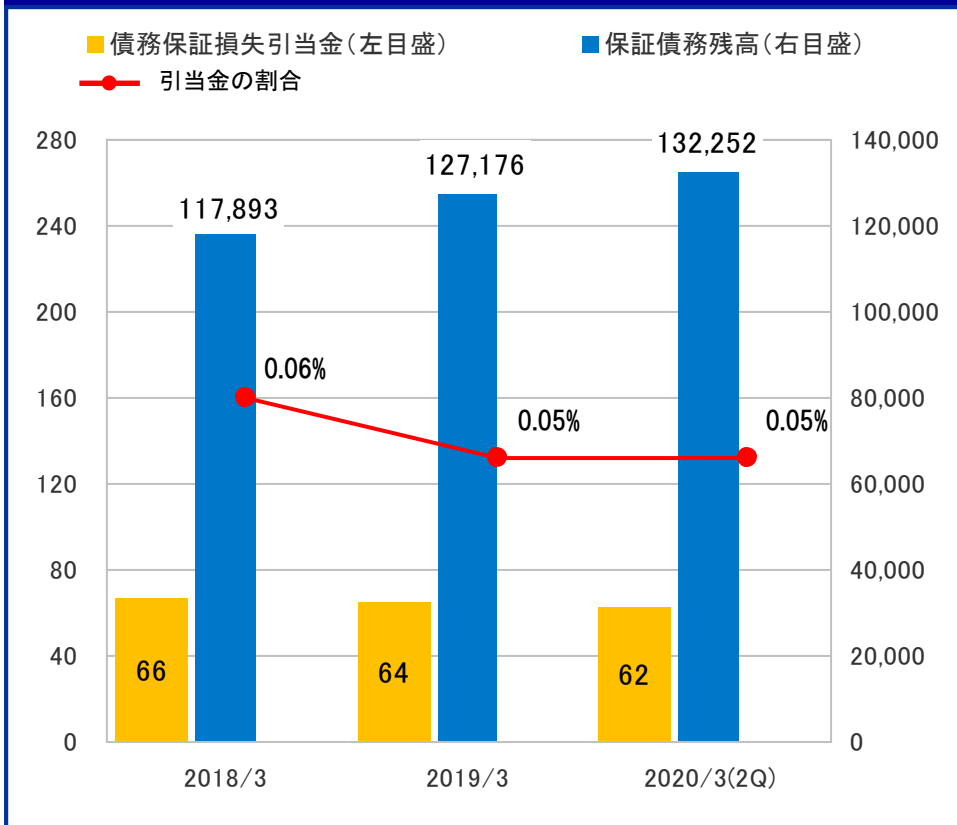
ポイント

- 資産
社債の購入により投資その他の資産が増加。
- 負債
保証債務残高の増加に伴い前受収益、長期前受収益が増加。

債務保証損失引当金について

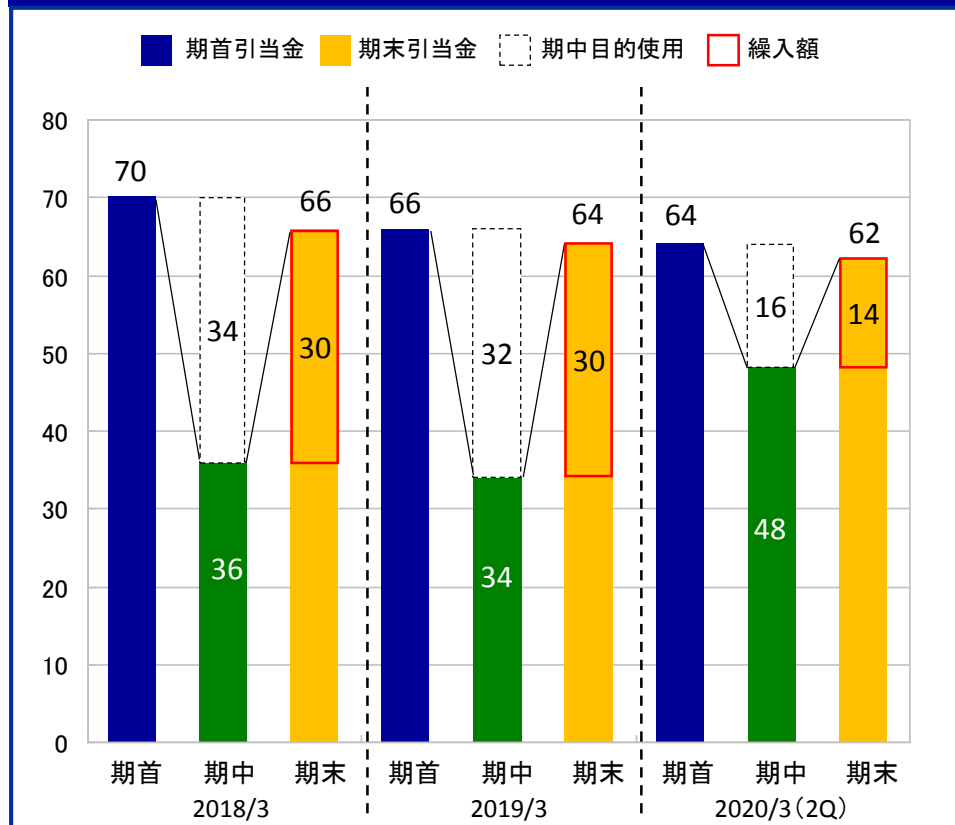
- 保証債務残高に対する引当金の割合は低下
- 2020年3月期第2四半期の債務保証損失引当金繰入額は、代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として計画を下回り、14億円(計画対比▲15.1%)となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



※引当金の割合の値は小数第3位を四捨五入して表示しております

債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります

Ⅱ. 今後の展開

上半期の進捗状況・下半期の取組み

		上半期	下半期
事業規模の 拡大	未提携金融機関 との新規契約締結	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信用組合1組合、JA2組合、JF1組合の合計4機関と提携 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き新規提携を推進
	付加価値向上の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ連携やインターネットを活用した申込スキームの提案を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 左記システムの利用先増加のための提案活動を継続
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業規模拡大への取組みとして住宅ローン保証ノウハウを生かした保証債務引受やRMBS購入を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 左記の事業規模拡大への取組みを継続
企業価値の 向上	業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ RPAを活用する業務を拡大 ✓ ペーパーレス技術の活用による審査業務の効率化および多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 審査業務に関する効率化について検討を継続
事業領域の 拡大	長期的課題への 対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社求償債権の管理回収業務をあげぼの債権回収(株)に委託開始 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 債権回収会社の運営体制を確立 ✓ サービサー業務の外部ニーズ調査
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ AI・ブロックチェーン技術を用いたビジネスモデルの研究の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 左記の技術を用いたビジネスモデルの構築を目指す

業績予想

(単位:百万円)

	19/3期	20/3期		前期比
		第2四半期	通期予想	
営業収益	43,204	17,623	44,700	3.5%
営業費用	8,975	4,818	9,600	7.0%
うち与信関連費用	2,727	1,443	2,900	6.3%
債務保証損失引当金繰入額	3,034	1,408	3,400	12.1%
貸倒引当金繰入額	▲307	34	▲500	62.9%
うちその他	6,248	3,374	6,700	7.2%
営業利益	34,229	12,805	35,100	2.5%
経常利益	35,169	13,394	36,100	2.6%
当期純利益	24,134	9,241	24,950	3.4%

業績予想の前提	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

その他	
ROE	17.2%
配当金(1株当たり)	90円